

タイトル「海上作業時の地元漁業者との調整」

工事名 平成 29 年度 [第 29-V1270-01 号] 妻良漁港

漁港施設機能強化 (4 種外郭) 南防波堤工事 (基礎改良工) (11-01)

地区名 下田地区

会社名 河津建設株式会社

主執筆者

現場代理人・主任技術者 土屋 陽一郎 (技術者番号 00148122)

①はじめに

発注者：静岡県下田土木事務所長 原 広司

工期：自 平成 29 年 09 月 02 日 至 平成 30 年 06 月 22 日

概要：静岡県賀茂郡南伊豆町の第 4 種漁港 妻良(めら)漁港の沖防波堤において、防波堤本体の津波耐性機能を強化する工事。混成堤 港内側へ基礎捨石(30～200kg、500kg)を腹付け投入・荒均しを行い、同漁港内の野積み場にて製作した被覆ブロックを作業船にて積込・海上運搬し、捨石面をブロック被覆するもの。

主要工種：

- ・基礎捨石工 石材(30～200kg、500kg)投入 V=2739m³、
- ・被覆ブロック製作 2t、4t、16t 型 200 個、同運搬据付 224 個、他

計画平面



完成状況



②現場における問題点

施工箇所周辺は、定置網漁・えび網漁の地元漁業者の操業範囲内にあり、特に基礎捨石の投入作業や、起重機船によるブロック据付作業時に漁業者の操業に支障の無いように調整する必要がありました。

③対応策・改善点と適用結果

工事着手前に、定置網の網元・動力船組合・えび網組合へ工事内容説明と具体的な作業時間の確認を行いました。

特に、イセエビ漁については、月齢により操業(夜間の投網)時期が決められており、投石による水中振動により漁獲に影響が出るため、月夜(満月前後の9日間)の期間での作業要望がありました。発注者・漁業者の要望を満足するため、

- ・石材搬入会社と調整し、投入計画日(投入施工日として3日間)を設定し、確実に現場搬入できるよう石山と調整をしました。

- ・海象予報サービスを活用し、和歌山から静岡県内の石材海上運搬に際し石材運搬会社と情報共有しながら施工を行いました。

- ・地元の漁業者に対し、利用の多い場所(漁船係留棧橋、荷捌き所、船揚場、係留岸壁等漁港内の7か所)に海上作業内容の予定時期・作業船舶・期間の案内板を設置し、投石作業にあたっては、4週、2週、1週間前に盤面色を変え、漁業者が工事作業予定を確認し作業状況を把握してもらえるように努めました。

- ・えび網組合、つぼ網組合等の漁業者は、定期的に岸壁、荷捌き所にて打合せを行うので、その際に作業予定の連絡挨拶・声掛けをこまめに行い、海上事故の予防と地元関係者のクレーム防止に努めました。

海上作業の案内掲示状況



④おわりに

- ・地元動力船組合とこまめに連絡を取っていたことで、工事作業船係留に際し寄港するヨット、クルーザ等の一般船係留時に、地元漁業者が工事作業船の係留接岸について連絡してもらえ、船舶作業をスムーズに行う事が出来ました。
- ・要望の時期を順守し、計6回の石材運搬船による投石作業と7回の起重機船によるブロック運搬据付作業を行い、イセエビ漁獲等に影響もなく工事施工を行う事が出来ました。

ブロック製作状況



漁港内位置図



ブロック据付状況

